

# 2024年度第2四半期 決算説明資料

あしたにいいこと、  
KOBELCOと。

2024年11月7日  
株式会社 神戸製鋼所  
証券コード 5406



- 業績総括
- 2024年度 第2四半期業績
- 2024年度 業績見通し
- 株主還元
- セグメント情報
- 参考資料

## 2024年度 第2四半期業績

		前年同期比
売上高	1兆2,485億円	△52億円
経常損益	709億円	△206億円
在庫評価影響を除く	669億円	△291億円
親会社株主に 帰属する中間純損益	565億円	△237億円

## 2024年度 業績見通し

		前回比
売上高	2兆6,000億円	△600億円
経常損益	1,300億円	△200億円
在庫評価影響を除く	1,285億円	△110億円
親会社株主に 帰属する当期純損益	1,200億円	±0億円
フリーキャッシュフロー	△700億円	△300億円

財務指標  
2024年度見通し

- ROIC : 6%程度 (2023年度: 6.7%)  
└ ROE : 11%程度 (2023年度:11.1%)
- 純資産比率 : 40%程度 (2023年度:38.6%)
- グロスD/Eレシオ : 0.85倍程度 (2023年度:0.83倍)

## 株主還元

- 1株あたり中間配当45円(決議)、年間配当90円の方針(変更なし)

## 2024年度 第2四半期業績 (前年同期比)

- 為替相場の急激な変動や労務費・物流費をはじめとする諸物価高騰等、外部環境は大きく変化。
- 自動車分野を中心に事業環境の悪化影響もあり、経常損益は、前年同期比206億円減益の709億円、中間純損益は、前年同期で計上した固定資産の譲渡益の剥落等により、前年同期比237億円減益の565億円。

## 2024年度 業績見通し (前回比)

- 事業環境は、素材系事業では自動車や半導体分野の需要回復遅れを想定する中、機械系事業では概ね前回並みを想定。
- 事業環境悪化による需要減もあり、経常損益は、前回比200億円減益の1,300億円程度、ROICは6%程度の見通し。当期純損益は、資産売却等を織り込み、前回並みの1,200億円程度の見通し。
- フリーキャッシュフローは、経常損益の悪化に加え、需要減や原料価格の下落に伴う運転資本の増加等により、前回比300億円悪化の△700億円程度の見通し。また、有利子負債の増加により、グロスD/Eレシオは0.85倍程度の見通し。

(単位:億円)	2023年度			2024年度見通し(今回)			増減 ②-①
	上期 ①	下期	通期	上期 ②	下期	通期	
売上高	12,538	12,893	25,431	12,485	13,514	26,000	△52
営業損益	921	944	1,866	777	622	1,400	△144
経常損益	916	693	1,609	709	590	1,300	△206
在庫評価影響を除く	961	603	1,564	669	615	1,285	△291
特別損益	277	△263	13	53	146	200	△223
親会社株主に帰属する 当期純損益	803	292	1,095	565	634	1,200	△237

## 売上高

素材系事業での価格転嫁の進展や、機械でのエネルギー・化学向けの本体・サービス売上増加の一方、電力での石炭価格の下落による減少等により、前年同期並み。

## 経常損益

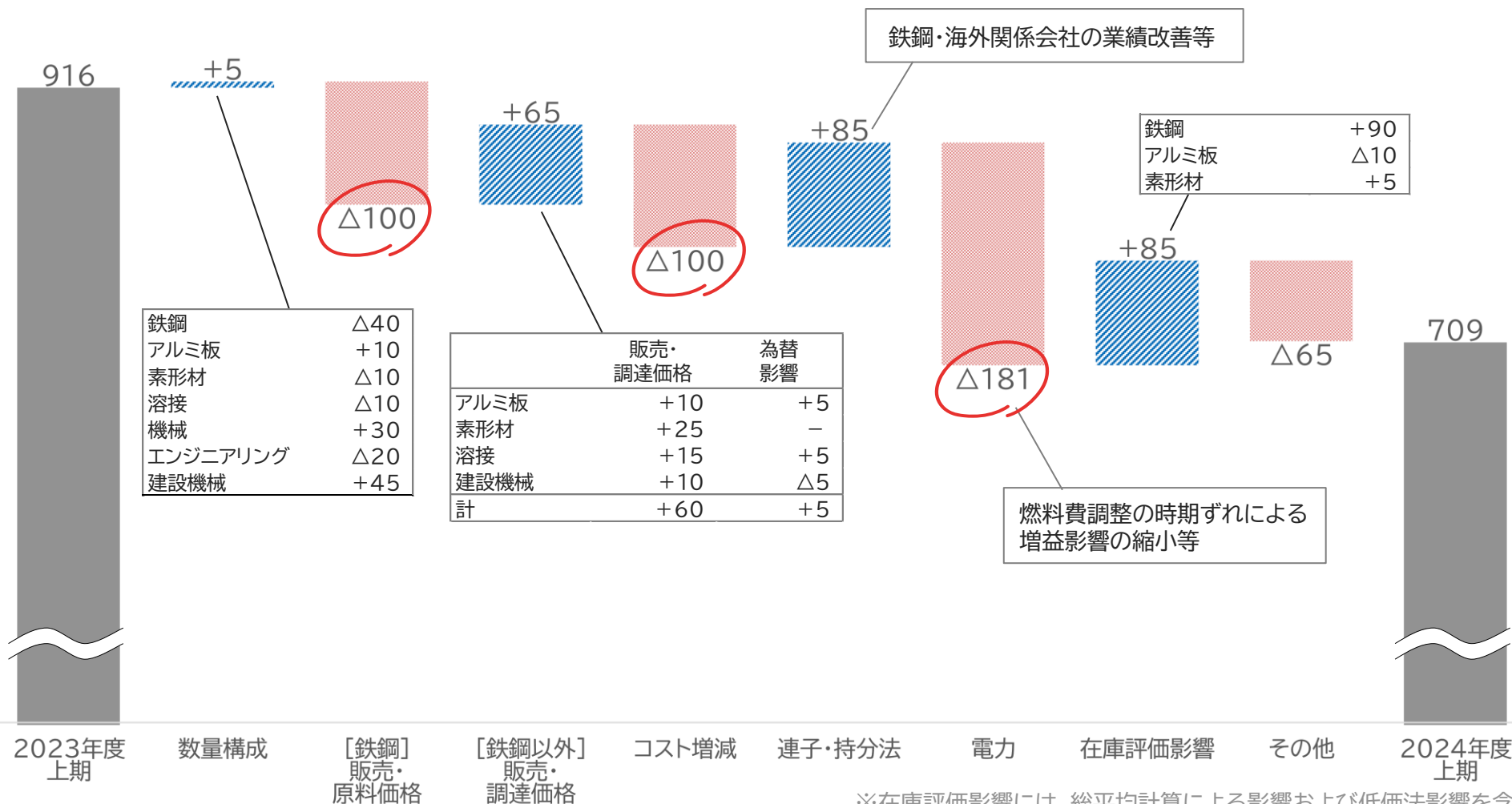
鉄鋼メタルスプレッドの悪化や、固定費を中心としたコストアップ、電力での燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小等により、前年同期比減益。

## 特別損益

建設機械・中国子会社での土地使用権の譲渡益(固定資産売却益)等を計上。

# 2024年度 第2四半期業績: 経常損益 前年同期比

△206億円



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

# 2024年度 第2四半期業績:経常損益 各セグメントの状況



	2023 上期	2024 上期	差異	
鉄鋼	259	188	△70	一時的なメタルスプレッドの縮小や、労務費・保全費を中心としたコストアップが生じた結果、円安に伴う在庫評価影響の改善等があったものの、減益。
在庫評価影響を除く	324	163	△160	
アルミ板	△51	△43	+7	主にディスク材の販売数量の増加や価格転嫁が進展したことで、固定費を中心としたコストアップ等をカバーし、改善。
在庫評価影響を除く	△61	△43	+17	
素形材	△0	23	+23	価格転嫁が進展したこと等により、改善。
在庫評価影響を除く	△10	8	+18	
溶接	15	21	+5	自動車・建築向けを中心に販売数量は減少した一方、価格転嫁の浸透等により、増益。
機械	103	123	+19	圧縮機を中心としたサービス売上の増加により、増益。
エンジニアリング	62	46	△15	案件構成差等により、減益。
建設機械	50	61	+10	エンジン認証問題からの回復や価格転嫁が進展したことで、固定費を中心としたコストアップ等をカバーし、増益。
電力	474	292	△181	燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小等により、減益。

# 2024年度 業績見通し

(単位:億円)	2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)			増減 ②-①
	上期	下期	通期 ①	上期	下期	通期 ②	
売上高	12,700	13,900	26,600	12,485	13,514	26,000	△600
営業損益	700	950	1,650	777	622	1,400	△250
経常損益	650	850	1,500	709	590	1,300	△200
在庫評価影響を除く	615	780	1,395	669	615	1,285	△110
特別損益	—	—	—	53	146	200	+200
親会社株主に帰属する 当期純損益	550	650	1,200	565	634	1,200	—

## 売上高

素材系事業での自動車分野を中心とした販売数量の減少により、機械でのエネルギー・化学向けの本体・サービス売上増加等を見込むものの、減収となる見通し。

## 経常損益

素材系事業での販売数量の減少や、建設機械での価格転嫁の未達を見込むとともに、在庫評価影響の悪化もあり、減益の見通し。なお、今回、建設機械でエンジン認証問題に関する補償金収入を織り込んでいる。

## 特別損益

上期で計上した土地使用権の譲渡益に加え、下期で土地の譲渡益等を見込む。



青字は需要変動の影響を受けるユニット

## 自動車

(鉄鋼、アルミ板、アルミ押出、サスペンション、銅板、鉄粉、溶接)

国内は、自動車メーカーの品質認証問題等の影響もあり、**前回比減少**

海外は、中国・東南アジアでの日系自動車メーカーの販売減や北米での人手不足により、**前回比減少**

## IT・半導体

(アルミ板、アルミ鋳鍛、銅板)

HDD需要は、データセンター向けを中心に回復基調が継続し、**前回比増加**

半導体関連は、需要回復の遅れにより、**前回比減少**

## 造船

(鉄鋼、鋳鍛鋼、溶接)

一定の手持ち工事量は維持するものの、人手不足や資材高騰影響の継続により、**前回並み(2023年度並み)**

## 航空機

(チタン、アルミ鋳鍛)

老朽機リプレースや新規建造の拡大が継続しており、**前回並み**

## 飲料用缶

(アルミ板)

**前回並み(2023年度並み)**

## 建築・土木

(鉄鋼、溶接)

資材高騰や人手不足を背景とした大型案件の後倒し等により、**前回比減少**

## (機械)

エネルギー  
・化学

エネルギー(LNG等)や化学・石油化学向けの装置需要は、引き続き堅調に推移し、**前回並み**  
環境関連需要は、国内外において**長期的には増加基調**

一般産業

国内は、引き続き堅調に推移し、**前回並み**  
海外は、中国市場の減速や東南アジア経済の停滞により**需要低迷が継続**

## (建設機械・油圧ショベル)

日本

建設機械の価格高騰による入替需要減少等により、**前回比減少**

中国

政府主導での農地整備工事の牽引等により、**前回比増加**

北米

住宅やインフラ向け需要は堅調だが、金利が高止まりしており、**前回比減少**

欧州

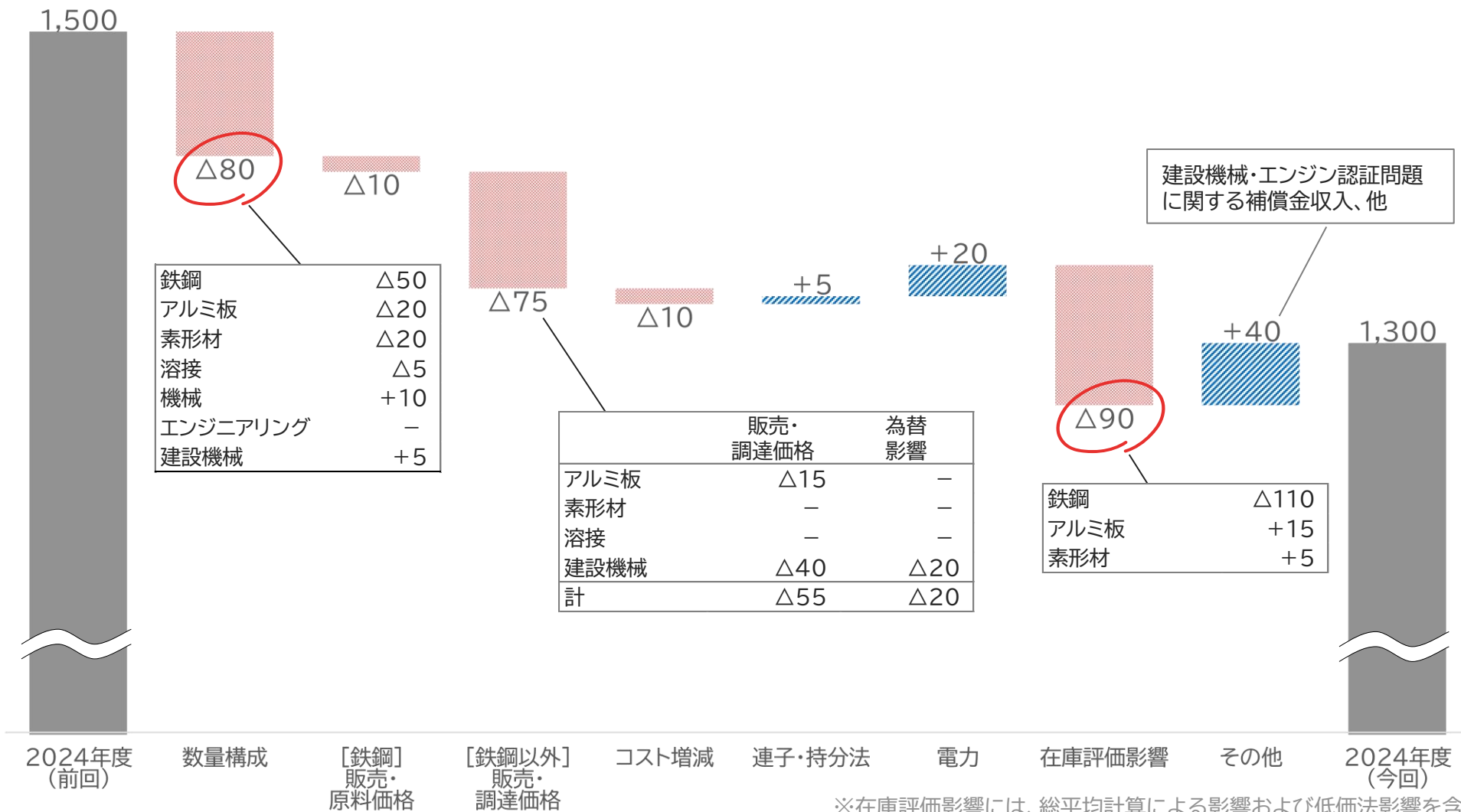
金利高止まりが続き、需要低迷の状況が変わらず、**前回並み**

東南アジア

一部の国で景気回復遅れやインフラ投資の遅れが見られるものの、**前回並み**

# 2024年度 業績見通し: 経常損益 前回比

△200億円



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

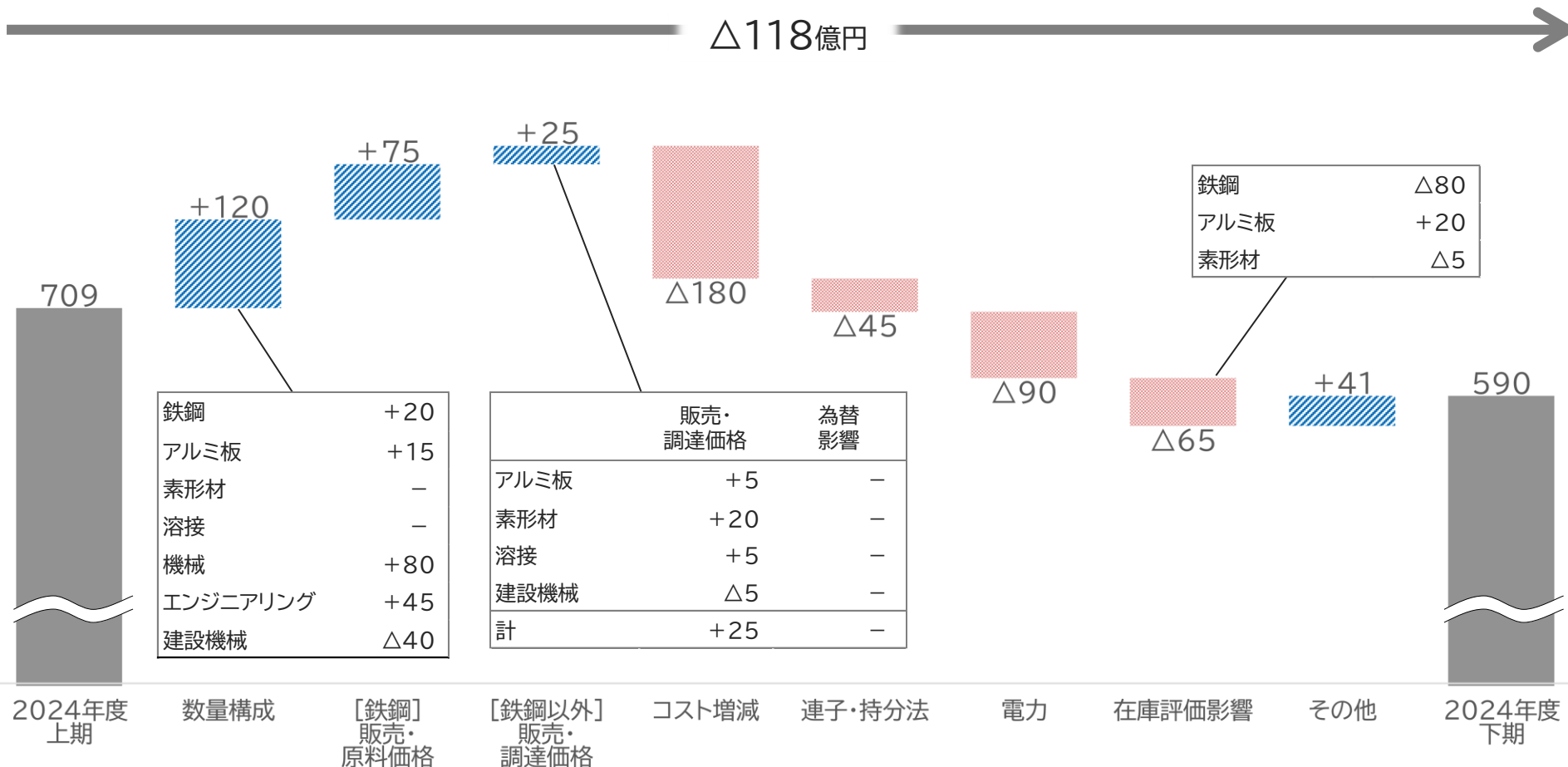
# 2024年度 業績見通し: 経常損益 各セグメントの状況

	2024 前回	2024 今回	差異	
鉄鋼	390	220	△170	自動車向けを中心に販売数量の減少を見込む他、原料市況の下落による在庫評価影響の悪化等により、減益の見通し。
在庫評価影響を除く	310	250	△60	
アルミ板	10	△20	△30	飲料用缶材の拡販遅れ等による販売数量の減少や、価格転嫁の未達等により、減益の見通し。
在庫評価影響を除く	5	△40	△45	
素形材	60	50	△10	自動車向けの需要減少や半導体の需要回復遅れによる販売数量の減少等により、減益の見通し。
在庫評価影響を除く	40	25	△15	
溶接	45	40	△5	販売数量の減少等により、減益の見通し。
機械	320	330	+10	エネルギー・化学向けを中心とする本体・サービス売上の増加等により、増益の見通し。
エンジニアリング	110	110	±0	前回並みの見通し。
建設機械	90	120	+30	価格転嫁の未達や円高による輸出採算の悪化があるものの、今回、エンジン認証問題に関する補償金収入を織り込み、増益の見通し。
電力	475	495	+20	売電価格に関する一過性の増益影響により、増益の見通し。

# 2024年度 業績見通し:上期→下期 差異内訳

- 機械系事業での売上の増加(下期集中)や、鉄鋼メタルスプレッドの改善と鉄鋼以外の価格転嫁の進展を見込む。一方、鉄鋼の保全費等の固定費が下期に集中する他、電力の燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小等により、上期から下期にかけて△118億円の減益となる見通し。

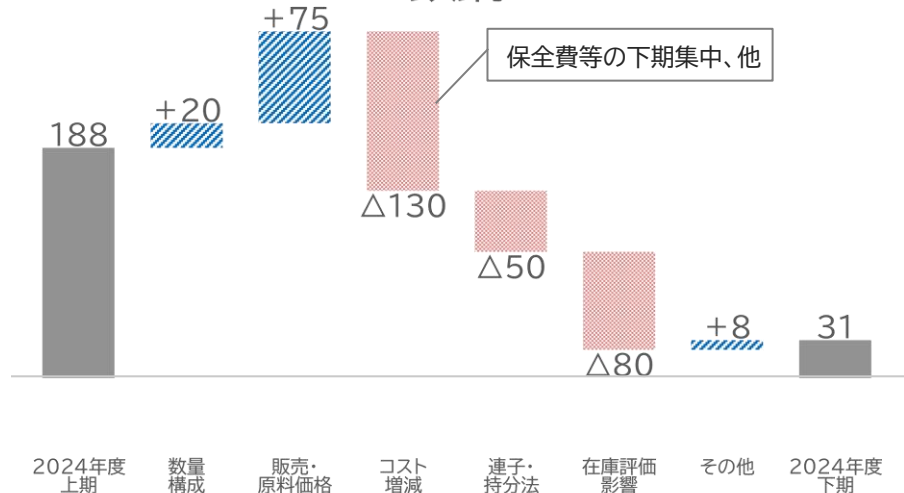
△118億円



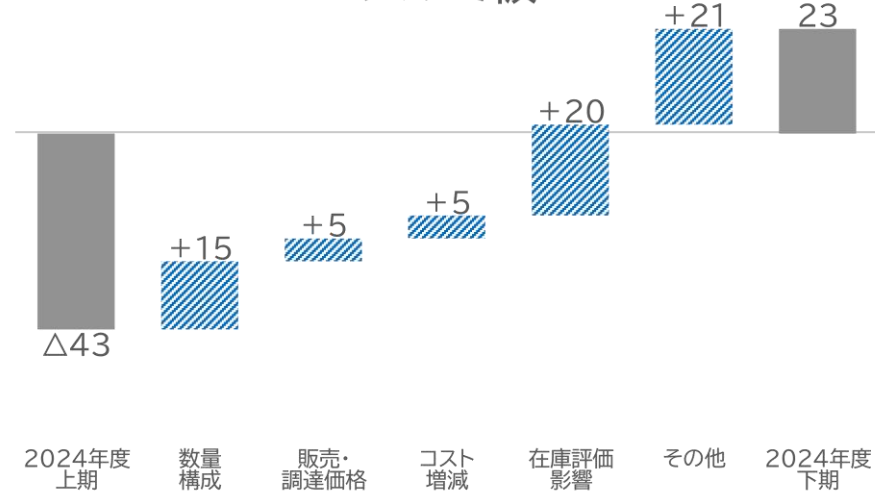
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

# 2024年度 業績見通し:上期→下期 差異内訳 主要セグメント

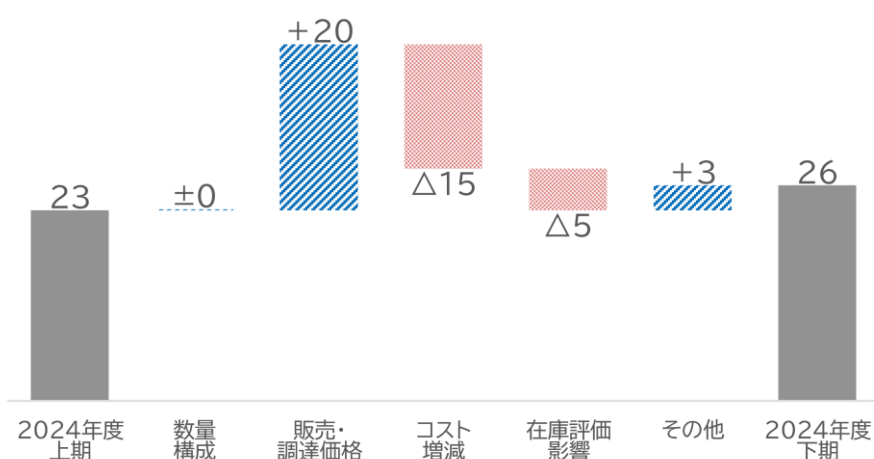
## 鉄鋼



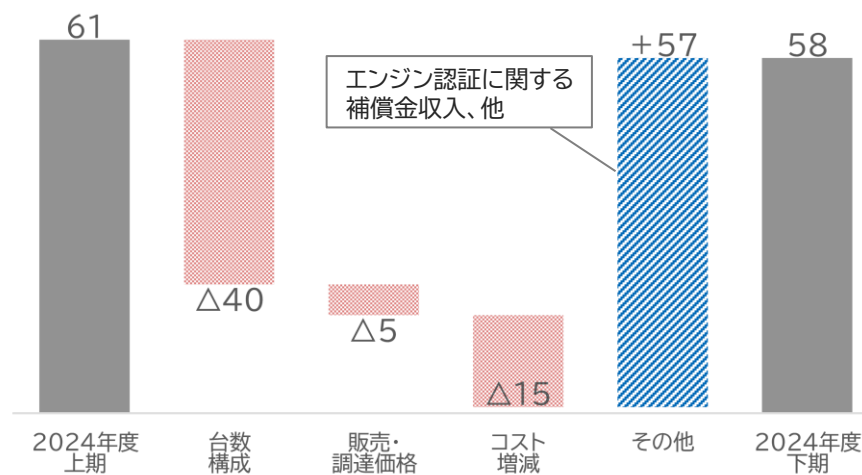
## アルミ板



## 素形材



## 建設機械



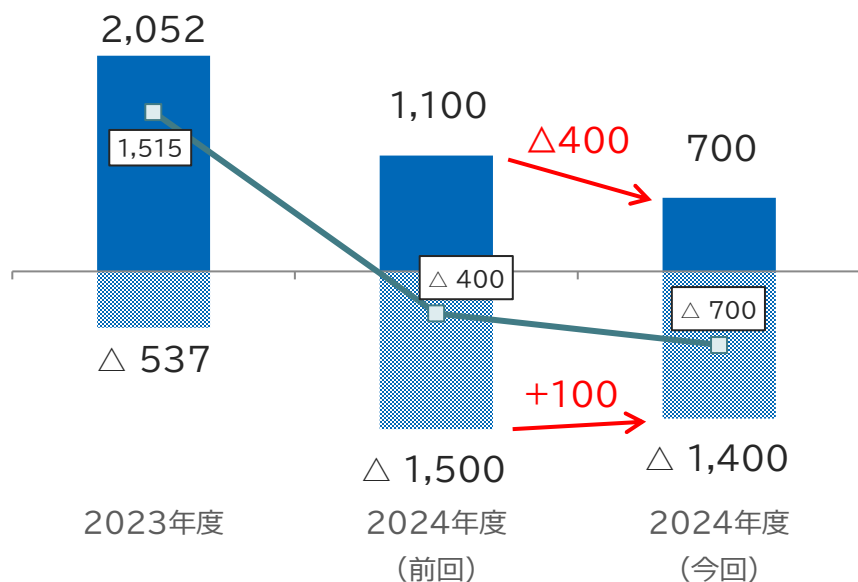
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

- 営業キャッシュフローは、経常損益の悪化に加え、鉄鋼を中心とする需要減に伴う棚卸資産の増加により、前回比400億円減少の700億円程度、フリーキャッシュフローは△700億円程度となる見通し。運転資本の適正化に向けた取組みを推進し、営業キャッシュフローの早期改善に努める。
- 有利子負債残高は、フリーキャッシュフローの悪化に加え、関西熱化学(株)の連結子会社化に伴う有利子負債の増加等により、前回比900億円増加し、グロスD/Eレシオは0.85倍程度となる見通し。

## キャッシュフロー

■ 営業キャッシュフロー ■ 投資キャッシュフロー □ フリーキャッシュフロー

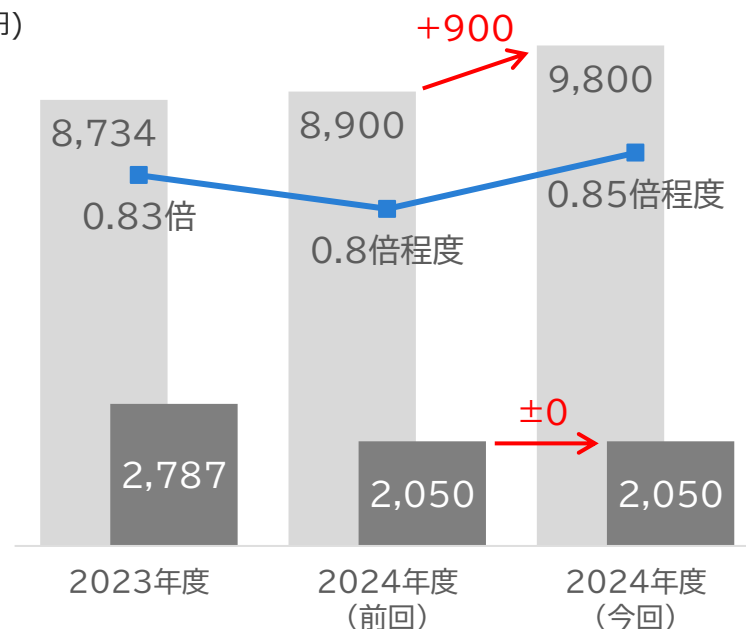
(億円)



## グロスD/Eレシオ

■ 有利子負債残高(リース含む) ■ 現預金残高 ■ グロスD/Eレシオ

(億円)





前回公表の方針の通り、中間配当は1株につき45円とすることを取締役会で決議  
 期末配当の方針は前回公表から変更なし

**還元方針** 継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、  
 財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に  
 考慮して決定

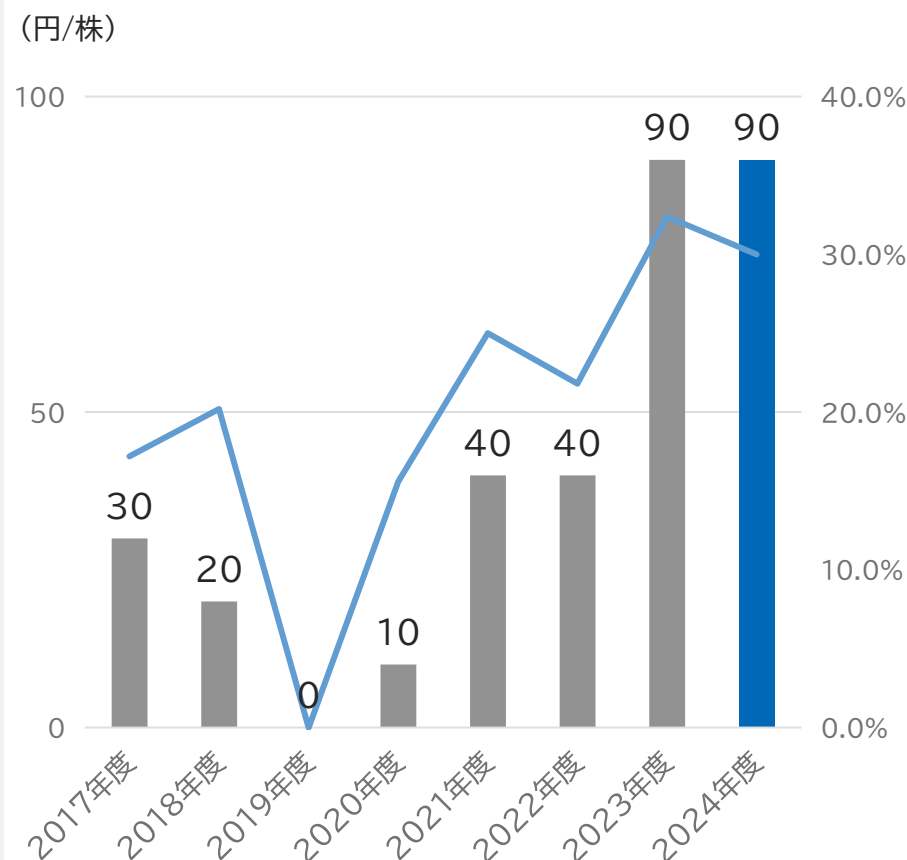
中期経営計画(2024~2026年度)

配当性向 30%程度

配当金額(円/株)  
 配当性向(%)

2023年度		2024年度	
中間	期末	中間(決議)	期末(方針)
45円	45円	45円	45円
90円		90円	
32.4%		29.6%	

## 配当金額・配当性向





## セグメント情報

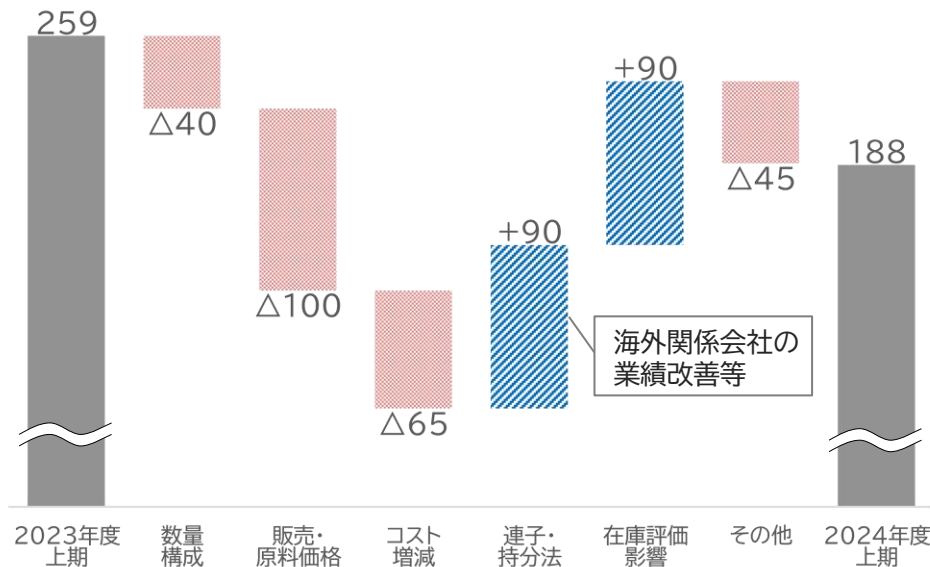
# 2024年度第2四半期業績・2024年度業績見通し



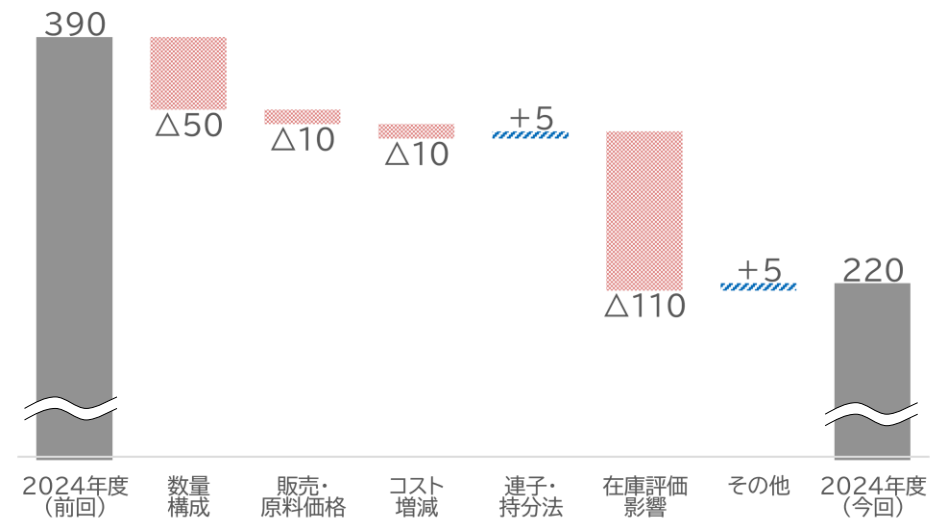
(単位:億円)	2023年度			2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)			2023年度比		前回比
	上期 ①	下期	通期 ②	上期	下期	通期 ③	上期 ④	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
鉄鋼アルミ	5,489	5,337	10,827	5,610	5,950	11,560	5,604	5,625	11,230	+115	+402	△330
素形材	1,418	1,562	2,981	1,600	1,820	3,420	1,529	1,760	3,290	+110	+308	△130
溶接	464	470	935	480	520	1,000	468	471	940	+3	+4	△60
機械	1,032	1,312	2,345	1,290	1,430	2,720	1,200	1,559	2,760	+168	+414	+40
エンジニアリング	751	954	1,706	720	1,110	1,830	653	1,176	1,830	△98	+123	—
建設機械	1,926	2,114	4,040	1,950	2,050	4,000	1,975	1,964	3,940	+48	△100	△60
電力	1,727	1,431	3,159	1,340	1,260	2,600	1,336	1,293	2,630	△391	△529	+30
その他	45	62	108	40	70	110	37	62	100	△8	△8	△10
調整額	△319	△352	△671	△330	△310	△640	△319	△400	△720	△0	△48	△80
売上高	12,538	12,893	25,431	12,700	13,900	26,600	12,485	13,514	26,000	△52	+568	△600
営業損益	921	944	1,866	700	950	1,650	777	622	1,400	△144	△466	△250
鉄鋼アルミ	207	△46	161	205	195	400	144	55	200	△63	+38	△200
素形材	△0	32	32	25	35	60	23	26	50	+23	+17	△10
溶接	15	33	49	20	25	45	21	18	40	+5	△9	△5
機械	103	192	296	135	185	320	123	206	330	+19	+33	+10
エンジニアリング	62	62	124	25	85	110	46	63	110	△15	△14	—
建設機械	50	40	91	0	90	90	61	58	120	+10	+28	+30
電力	474	383	857	260	215	475	292	202	495	△181	△362	+20
その他	17	30	48	20	25	45	20	24	45	+2	△3	—
調整額	△15	△35	△51	△40	△5	△45	△23	△66	△90	△7	△38	△45
経常損益	916	693	1,609	650	850	1,500	709	590	1,300	△206	△309	△200
在庫評価影響を除く	961	603	1,564	615	780	1,395	669	615	1,285	△291	△279	△110
特別損益	277	△263	13	—	—	—	53	146	200	△223	+186	+200
親会社株主に帰属する 当期純損益	803	292	1,095	550	650	1,200	565	634	1,200	△237	+104	—

(単位:億円)	2023年度			2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)			2023年度比		前回比	
	上期 ①	下期	通期 ②	上期	下期	通期 ③	上期 ④	下期	通期 ⑤	上期 ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③	
売上高	4,524	4,392	8,916	4,610	4,830	9,440	4,616	4,523	9,140	+92	+223	△300	
経常損益	259	133	392	225	165	390	188	31	220	△70	△172	△170	
在庫評価影響を除く	324	78	402	205	105	310	163	86	250	△160	△152	△60	
粗鋼生産量(高砂含む)	[万t]	309	288	597	300	300	600	301	299	600	△8	+3	—
鋼材 販売数量(単体)	[万t]	247	223	469	240	240	480	234	236	470	△13	+1	△10
(国内)		192	174	366				179			△13		
(輸出)		54	49	104				55			+0		
(輸出比率)		21%	23%	22%				24%			+3%		
鋼材 販売単価	[千円/t]	140	145	143				148			+8		

## 2024年度 第2四半期業績 (前年同期比)



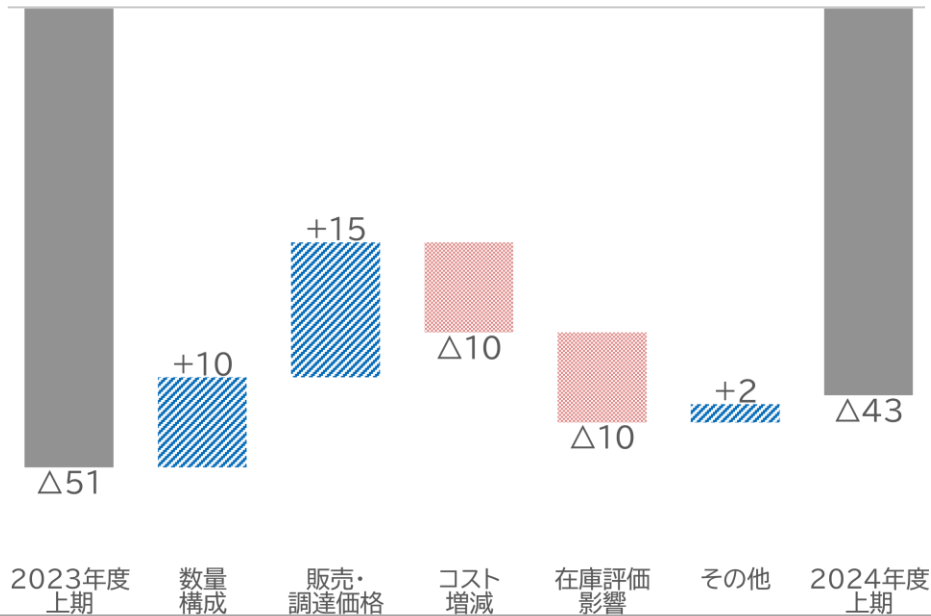
## 2024年度 業績見通し (前回比)



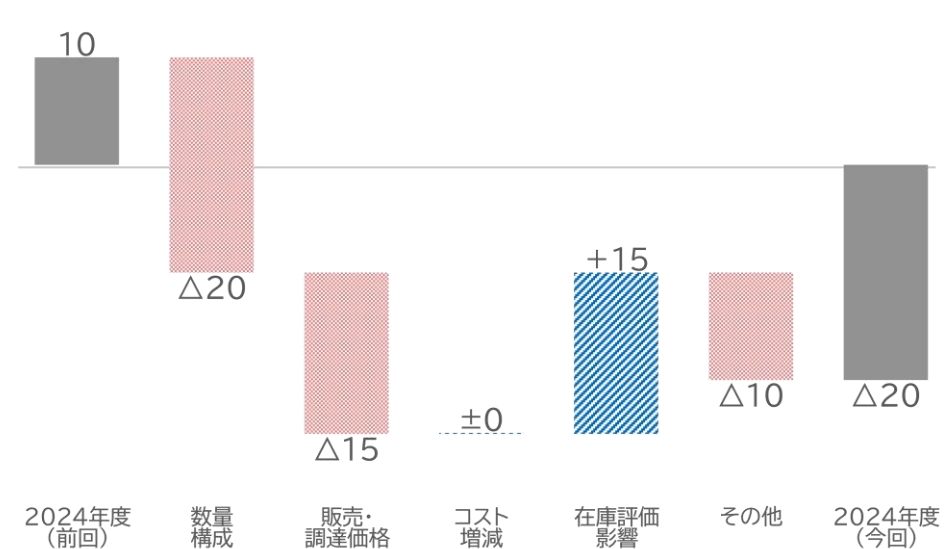
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

(単位:億円)	2023年度			2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)			2023年度比		前回比	
	上期 ①	下期	通期 ②	上期	下期	通期 ③	上期 ④	下期	通期 ⑤	上期 ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③	
売上高	965	945	1,911	1,000	1,120	2,120	988	1,101	2,090	+23	+178	△30	
経常損益	△51	△179	△231	△20	30	10	△43	23	△20	+7	+211	△30	
在庫評価影響を除く	△61	△189	△251	△20	25	5	△43	3	△40	+17	+211	△45	
アルミ板 販売数量(連結)	[千t]	161	154	314	170	170	340	154	176	330	△7	+16	△10
(国内)		116	107	223				110			△6		
(海外)		45	47	91				44			△0		

## 2024年度 第2四半期業績 (前年同期比)



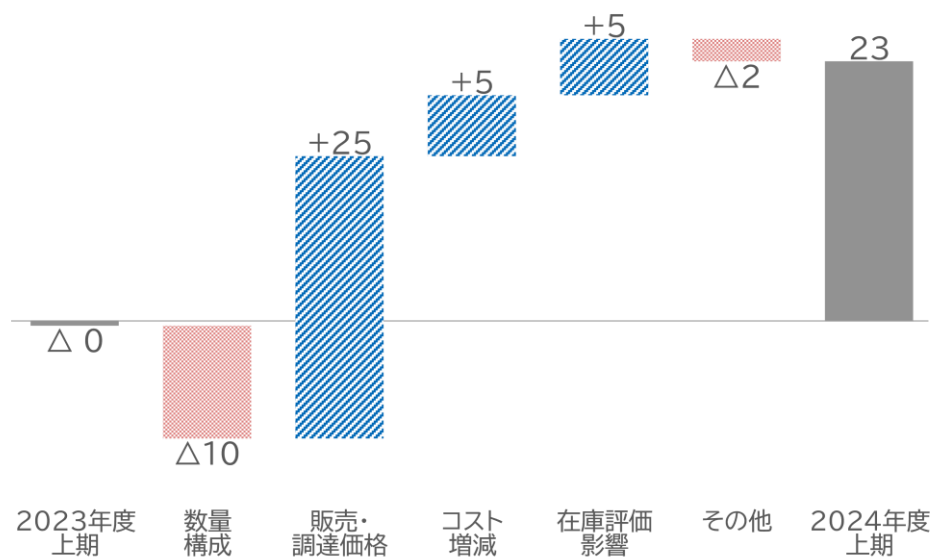
## 2024年度 業績見通し (前回比)



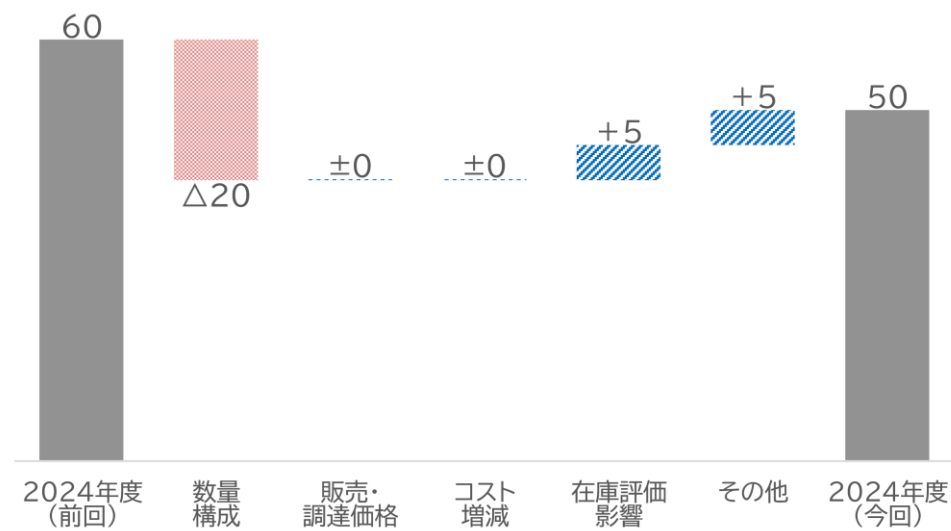
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

(単位:億円)	2023年度			2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)			2023年度比		前回比
	上期 ①	下期	通期 ②	上期	下期	通期 ③	上期 ④	下期	通期 ⑤	上期 ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	1,418	1,562	2,981	1,600	1,820	3,420	1,529	1,760	3,290	+110	+308	△130
経常損益	△0	32	32	25	35	60	23	26	50	+23	+17	△10
在庫評価影響を除く	△10	7	△3	10	30	40	8	16	25	+18	+28	△15
アルミ押出 販売数量 (連結) [千t]	18	20	37	19	20	39	19	20	39	+1	+2	-
(国内)	13	15	29				15			+1		
(海外)	4	5	9				4			+0		
銅板 販売数量 (単体) [千t]	24	27	52	28	31	59	26	29	55	+1	+3	△4

## 2024年度 第2四半期業績 (前年同期比)



## 2024年度 業績見通し (前回比)



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

(単位:億円)	2023年度			2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)			2023年度比		前回比
	上期 ①	下期	通期 ②	上期	下期	通期 ③	上期 ④	下期	通期 ⑤	上期 ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	464	470	935	480	520	1,000	468	471	940	+3	+4	△60
経常損益	15	33	49	20	25	45	21	18	40	+5	△9	△5
溶接材料 販売数量 (連結) [千t]	122	120	242	115	120	235	112	113	225	△10	△17	△10
(国内)	53	52	105				48			△5		
(海外)	69	67	136				64			△5		

## 2024年度 第2四半期業績 (前年同期比)

数量 国内:自動車・鉄骨の需要が減少  
海外:東南アジアでの景気低迷により減少

価格 価格転嫁の進展により上昇

コスト 資機材等でコスト上昇

## 2024年度 業績見通し (前回比)

数量 国内:減少の見通し  
海外:タイ景気低迷影響により減少の見通し

価格 前回並みの見通し

コスト 前回並みの見通し

(単位:億円)	2023年度			2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)			2023年度比		前回比
	上期 ①	下期	通期 ②	上期	下期	通期 ③	上期 ④	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	1,032	1,312	2,345	1,290	1,430	2,720	1,200	1,559	2,760	+168	+414	+40
経常損益	103	192	296	135	185	320	123	206	330	+19	+33	+10
受注高	1,158	1,579	2,737	1,300	1,300	2,600	1,193	1,406	2,600	+35	△137	—
受注残高	2,262	2,518	2,518				2,522			+259		

## 2024年度 第2四半期業績 (前年同期比)

**受注高** エネルギー・化学向けの好調な需要を受け、圧縮機等で増加

**経常損益** 圧縮機を中心としたサービス売上の増加や受注案件の進捗等により、増益

## 2024年度 業績見通し (前回は)

**受注高** 前回並みの見通し

**経常損益** 圧縮機を中心とした本体・サービス売上の増加等により、増益の見通し

(単位:億円)	2023年度			2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)			2023年度比		前回比
	上期 ①	下期	通期 ②	上期	下期	通期 ③	上期 ④	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	751	954	1,706	720	1,110	1,830	653	1,176	1,830	△98	+123	—
経常損益	62	62	124	25	85	110	46	63	110	△15	△14	—
受注高	1,224	918	2,143	600	1,200	1,800	595	1,204	1,800	△629	△343	—
受注残高	4,393	4,336	4,336				4,431			+37		

## 2024年度 第2四半期業績 (前年同期比)

受注高 還元鉄関連事業や廃棄物処理関連事業において大型案件を受注した前年同期と比べると、減少

経常損益 案件構成差等により、前年同期比減益

## 2024年度 業績見通し (前回は)

受注高 前回並みの見通し

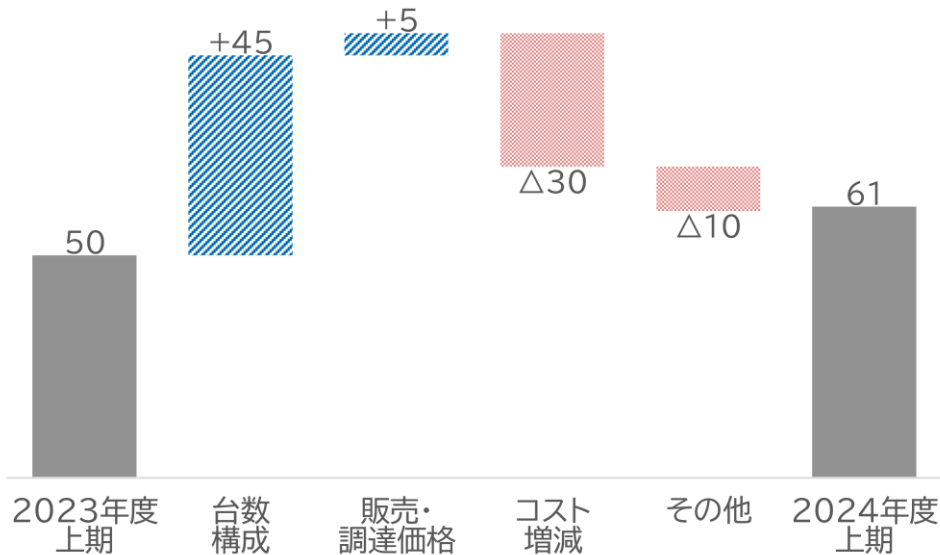
経常損益 前回並みの見通し



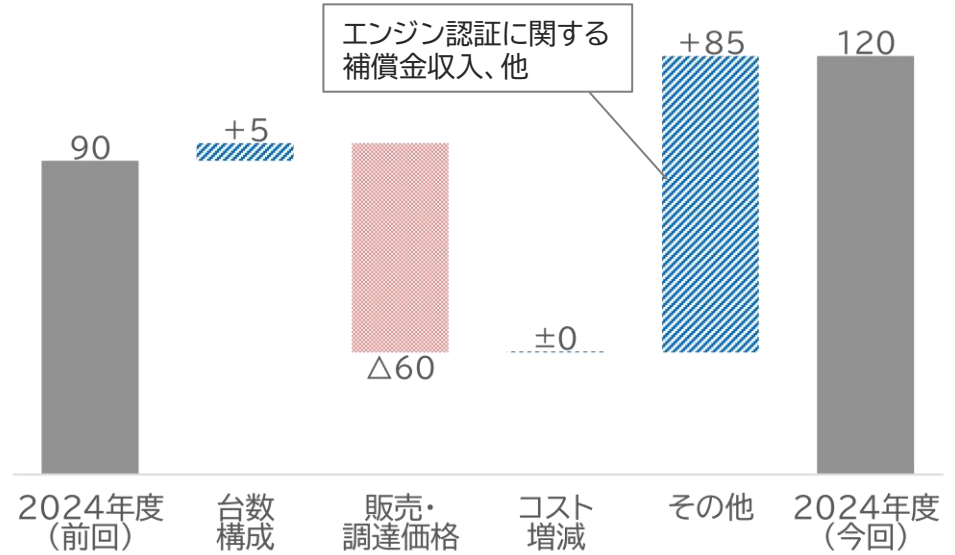
(単位:億円)	2023年度			2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)			2023年度比		前回比
	上期 ①	下期	通期 ②	上期	下期	通期 ③	上期 ④	下期	通期 ⑤	上期 ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	1,926	2,114	4,040	1,950	2,050	4,000	1,975	1,964	3,940	+48	△100	△60
経常損益	50	40	91	0	90	90	61	58	120	+10	+28	+30
油圧ショベル 販売台数(連結) [千台]	11.7	12.4	24.1	11.5	14.0	25.5	10.3	12.7	23.0	△1.4	△1.1	△2.5
(国内) ※1	3.4	4.7	8.1				2.7			△0.7		
(海外)	8.3	7.6	15.9				7.7			△0.6		
クローラークレーン 販売台数(連結) [台]	132	183	315	170	200	370	157	213	370	+25	+55	—

※1：ミニショベルを含む

## 2024年度 第2四半期業績 (前年同期比)



## 2024年度 業績見通し (前回比)



(単位:億円)	2023年度			2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)			2023年度比		前回比
	上期 ①	下期	通期 ②	上期	下期	通期 ③	上期 ④	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	1,727	1,431	3,159	1,340	1,260	2,600	1,336	1,293	2,630	△391	△529	+30
経常損益	474	383	857	260	215	475	292	202	495	△181	△362	+20
燃料費調整の時期ずれ	160	60	220	40	—	40	40	—	40	△120	△180	—
売電価格に関する一過性の損益影響	80	120	200	—	—	—	20	—	20	△60	△180	+20

## 2024年度 第2四半期業績 (前年同期比)

販売電力量 前年同期比で減少

販売単価 石炭価格の変動により、下落

経常損益 燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小等により、減益

## 2024年度 業績見通し (前回比)

販売電力量 前回並みの見通し

販売単価 石炭価格の変動により、上昇の見通し

経常損益 売電価格に関する一過性の増益影響により、増益の見通し

## 参考資料

	2023年度実績			2024年度 (前回)	2024年度(今回)		
	上期	下期	通期	通期	上期	下期	通期
USDドル (円/\$)	142.6	148.0	145.3	155.8	152.4	145.0	148.7
中国元 (円/元)	19.9	20.5	20.2	21.2	21.2	20.0	20.6
ユーロ (円/€)	154.8	160.6	157.7	166.3	165.8	155.0	160.4

## 【為替の感応度分析】

USDドル1円 円安に伴う今後の業績影響

鉄鋼 :  $\Delta$ 1億円程度(ドルバランスの影響 $\Delta$ 5億円、在庫評価影響・販売価格への転嫁等+4億円)

建設機械: +1億円程度(ドルバランスの影響+1億円)

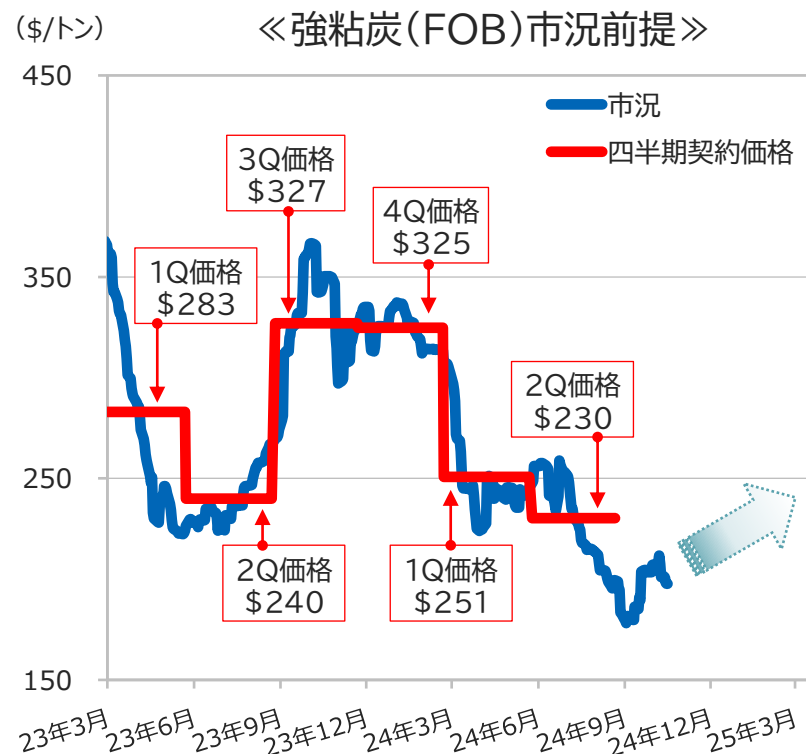
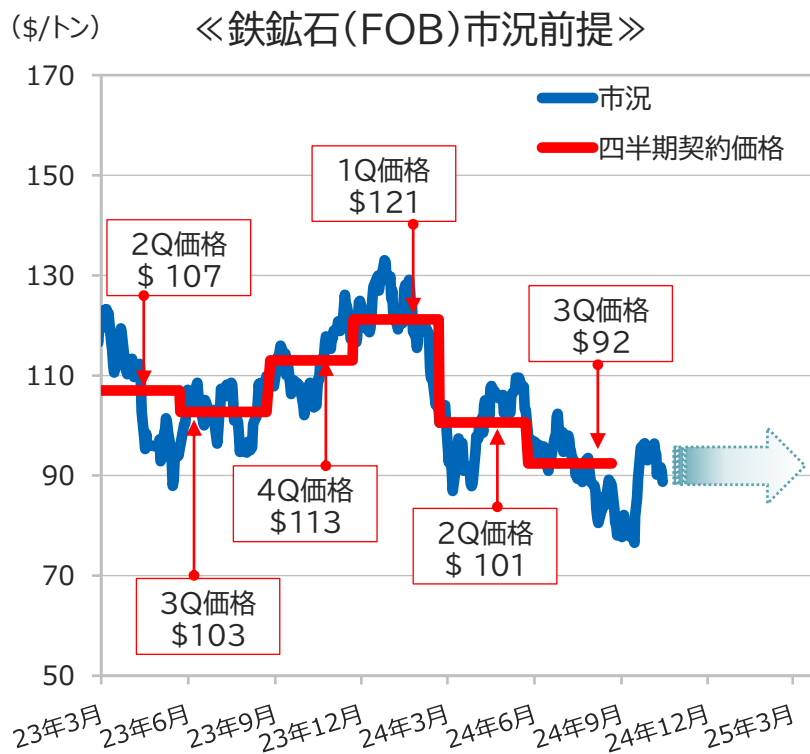
ユーロ1円 円安に伴う今後の業績影響

建設機械: +1億円程度(ユーロバランスの影響+1億円)

鉄鉱石 3Q価格は\$92で決着済み。4Q価格は足元並みを想定。

強粘炭 2Q価格は\$230で決着済み。  
3Q価格は足元市況を考慮して想定するが、4Qにかけて徐々に市況が上昇すると想定。

一般炭 7月から9月にかけて市況は\$130～\$150前後で推移。3Q以降の価格は足元並みで想定。



# 在庫評価影響

(単位:億円)

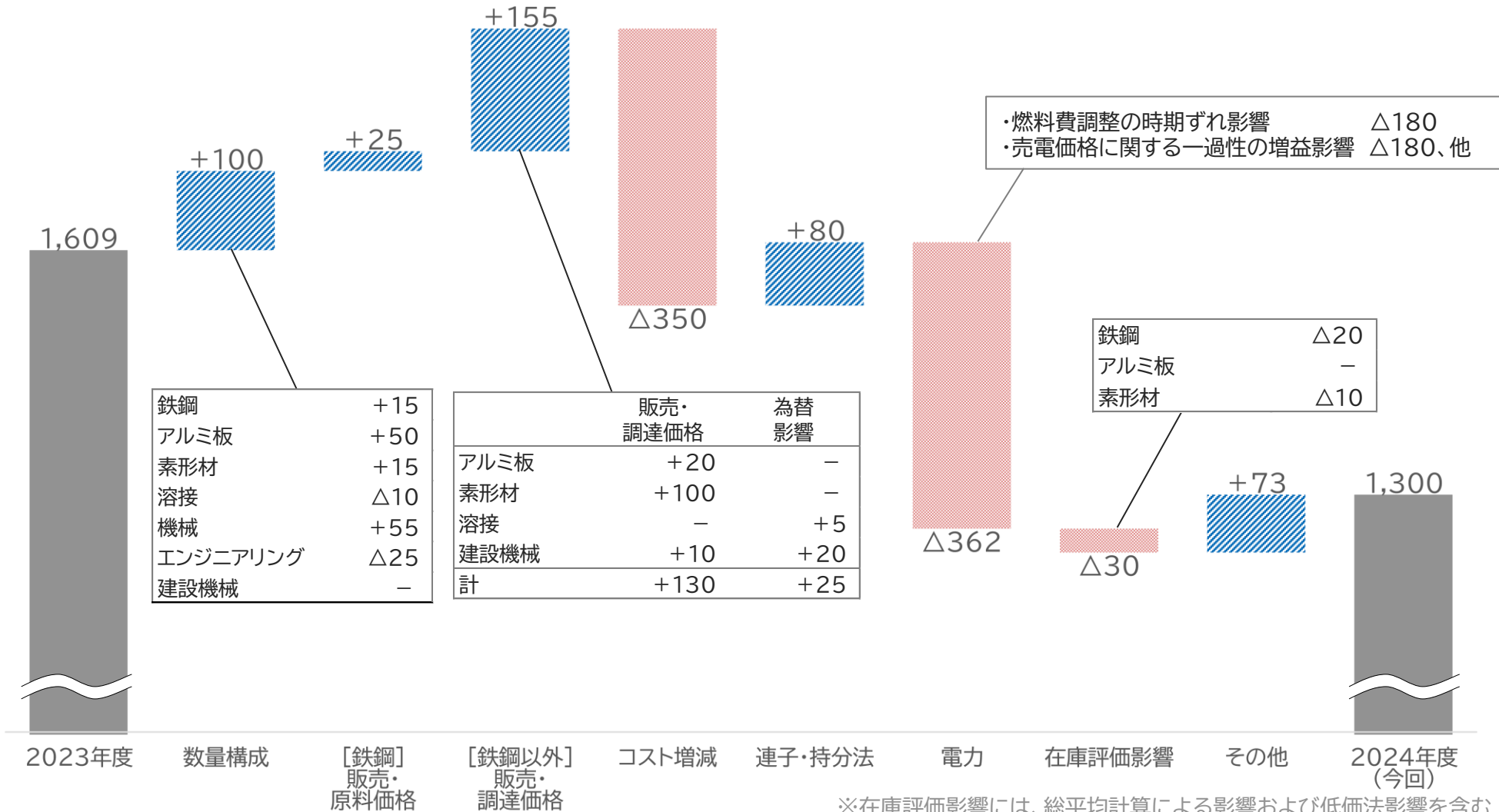
鉄鋼	2023年度			2024年度(前回)			2024年度(今回)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
鉄鉱石	25	10	35	△20	10	△10	△15	△20	△35
石炭	△20	25	5	△20	15	△5	△25	5	△20
キャリーオーバー	5	35	40	△40	25	△15	△40	△15	△55
総平均	△70	60	△10	20	60	80	35	△65	△30
低価法	5	△5	0	0	0	0	△10	10	0
在庫評価影響	△65	55	△10	20	60	80	25	△55	△30

アルミ板	2023年度			2024年度(前回)			2024年度(今回)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
総平均	5	10	15	15	5	20	△5	20	15
低価法	5	0	5	△15	0	△15	5	0	5
在庫評価影響	10	10	20	0	5	5	0	20	20

素形材	2023年度			2024年度(前回)			2024年度(今回)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
総平均	10	25	35	20	0	20	25	5	30
低価法	0	0	0	△5	5	0	△10	5	△5
在庫評価影響	10	25	35	15	5	20	15	10	25

# 2024年度 業績見通し: 経常損益 2023年度比

△309億円



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

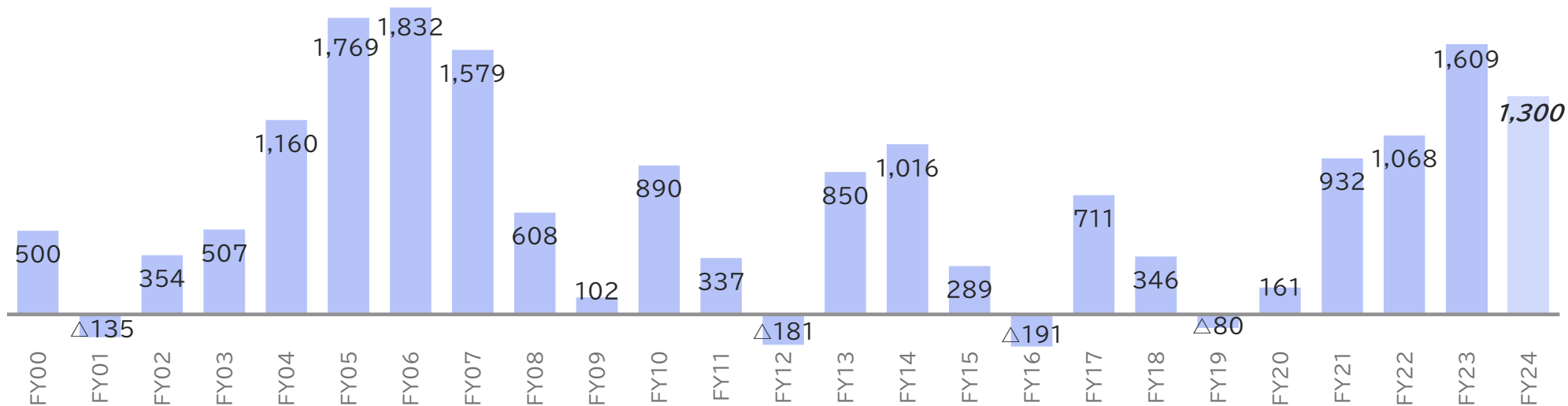
		2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 見通し(前回)	2024年度 見通し(今回)
設備投資	計上	1,081億円	973億円	1,052億円	1,150億円	1,100億円
	支払	1,564億円	989億円	948億円	1,250億円	1,200億円
減価償却費		1,051億円	1,125億円	1,190億円	1,250億円	1,200億円
純資産比率		32.0%	34.0%	38.6%	40%程度	40%程度
有利子負債(リース含)		9,738億円	9,172億円	8,734億円	8,900億円	9,800億円
グロスD/Eレシオ ※1		1.19倍	1.00倍	0.83倍	0.8倍程度	0.85倍程度
営業キャッシュフロー		1,688億円	1,196億円	2,052億円	1,100億円	700億円
投資キャッシュフロー		△ 1,615億円	△ 972億円	△ 537億円	△ 1,500億円	△ 1,400億円
フリーキャッシュフロー		72億円	224億円	1,515億円	△ 400億円	△ 700億円
現預金残高		2,605億円	2,033億円	2,787億円	2,050億円	2,050億円
1株当たり当期純損益		160.23円	183.80円	277.38円	304.09円	304.03円
ROE ※2		7.9%	8.4%	11.1%	10.8%程度	11%程度
ROIC ※3		4.7%	4.9%	6.7%	6.5%程度	6%程度

※1:グロスD/Eレシオ=有利子負債(リース含む)/自己資本 ※2:親会社株主に帰属する当期純損益/自己資本 ※3:税引後事業利益/投下資本

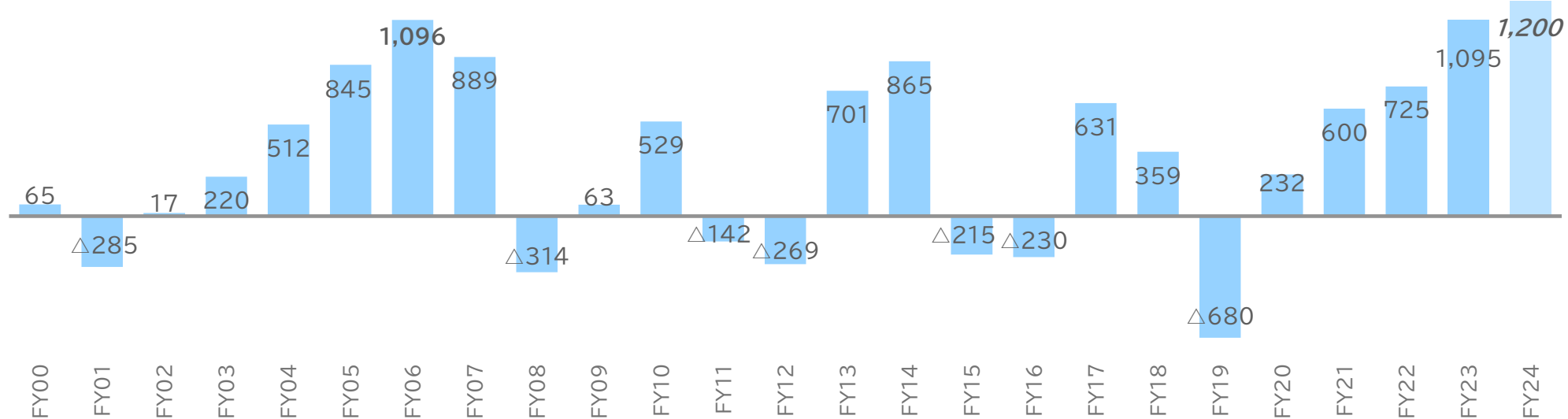


(単位：億円)

## 【経常損益】



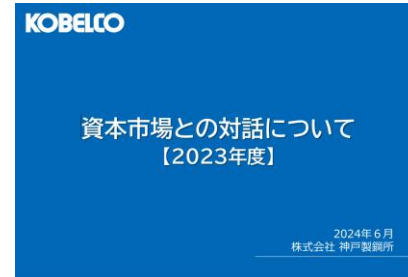
## 【親会社株主に帰属する当期純損益】



## 資本市場との対話

当社は持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて、資本市場との対話を積極的に行っており、その内容をホームページに開示しています。

2023年度版（2024年6月公表）：[capital\\_markets\\_23.pdf \(kobelco.co.jp\)](https://www.kobelco.co.jp/capital_markets_23.pdf)



## 社会からの評価 (主なもの)

◆ FTSE4Good Index Series  
(2021年6月～)



FTSE4Good

◆ FTSE Blossom Japan Sector Relative Index  
(2022年3月～)



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

◆ FTSE Blossom Japan Index  
(2021年6月～)



FTSE Blossom Japan

◆ CDP  
(2020年12月～)



「気候変動」で「A-」の評価を  
4年連続で獲得

◆ MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX ※  
(2022年6月～)

2024 CONSTITUENT MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX

◆ MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN) ※  
(2022年12月～)

2024 CONSTITUENT MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

※THE INCLUSION OF KOBE STEEL, LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF KOBE STEEL, LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI.

MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

<p><b>KOBELCO</b> が 実現したい未来</p>	<p>「KOBELCOの使命・存在意義」の実行を通じて実現したい社会・未来</p> <p>安全・安心で豊かな暮らしの中で、 今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。</p>								
<p><b>KOBELCO</b> の 使命・存在意義</p>	<p>KOBELCOグループの社会的存在意義であり、果たすべき使命</p> <p>個性と技術を活かし合い、 社会課題の解決に挑みつづける。</p>								
<p><b>KOBELCO</b> の 3つの約束</p>	<p>KOBELCOグループの社会に対する約束事であり、グループで共有する価値観</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します</li> <li>2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます</li> <li>3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します</li> </ol>								
<p><b>KOBELCO</b> の 6つの誓い</p>	<p>「KOBELCOの3つの約束」を果たすため、品質憲章とともに全社員が実践する行動規範</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 高い倫理観とプロ意識の徹底</td> <td>3. 働きやすい職場環境の実現</td> </tr> <tr> <td>2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献</td> <td>4. 地域社会との共生</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>品質憲章</b></td> <td>5. 環境への貢献</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6. ステークホルダーの尊重</td> </tr> </table>	1. 高い倫理観とプロ意識の徹底	3. 働きやすい職場環境の実現	2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献	4. 地域社会との共生	<b>品質憲章</b>	5. 環境への貢献		6. ステークホルダーの尊重
1. 高い倫理観とプロ意識の徹底	3. 働きやすい職場環境の実現								
2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献	4. 地域社会との共生								
<b>品質憲章</b>	5. 環境への貢献								
	6. ステークホルダーの尊重								

- 本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略等、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性等様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。
  
- 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
  - ・ 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
  - ・ 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
  - ・ 為替相場の変動
  - ・ 原材料の Availability や市況
  - ・ 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&A等の事業展開
  - ・ 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化